

平成 27 年度 第 2 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 27 年 10 月 26 日 (月) 13 時 58 分～15 時 58 分

2. 開催場所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

3. 出席者

【委員】 齊藤委員、川嶋委員、坂本委員、三須委員、岡崎委員（代理 辻内氏）、田中委員、笹尾委員、仲田委員、小川委員、吉井委員、林委員、座古委員、小泉委員、矢野委員、越川委員、尾崎委員（代理 野村氏）、千葉委員、椎名委員、大木委員（代理 中野氏）、関口委員、伊藤委員、佐藤委員、今関委員、錦見委員（代理 吉井氏）

（欠席） 岡本委員、本吉委員

【事務局】 山本企画政策部長、矢野企画課長、子安企画課副課長、矢野統計調査係長、櫻井主査補

【傍聴人】 0 名

4. 会議次第

1 開 会 矢野課長

・会議成立の報告

委員の過半数の出席（24 名出席）であり、東金市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

2 齊藤会長あいさつ

3 新任委員紹介

・会議の目的等の確認

- (1) デマンド型乗合タクシーの利用実績（平成 27 年度第 1・第 2 四半期）について（報告）
- (2) 循環バス（福岡路線・豊成路線）の利用実績（平成 27 年度第 1・第 2 四半期）について（報告）
- (3) 東金市議会視察報告（パーク アンド ライド）について（報告）
- (4) 東金市地域公共交通会議設置要綱の改正について（審議）
- (5) 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 収支補正予算（案）について（審議）
- (6) 「第 2 次東金市総合交通計画」の策定について（審議）

4 議 事 （議長 齊藤会長）

・議事案件 (1)・(2)・(3) 矢野係長、(4)・(5)・(6) 櫻井主査補より説明・提案

- (1) デマンド型乗合タクシーの利用実績（平成 27 年度第 1・第 2 四半期）について【報告】 資料 1
- (2) 循環バス（福岡路線・豊成路線）の利用実績（平成 27 年度第 1・第 2 四半期）について【報告】 資料 2
- (3) 東金市議会視察報告（パーク アンド ライド）について【報告】 資料 3
- (4) 東金市地域公共交通会議設置要綱の改正について【審議】 資料 4
- (5) 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 収支補正予算（案）について【審議】 資料 5
- (6) 「第 2 次東金市総合交通計画」の策定について【審議】 資料 6
- (7) その他

5. 閉 会

【結果・決まったこと・次回の課題・今後の課題】

■ 議事

- (1) デマンド型乗合タクシーの利用実績（H27年度第1・2四半期）について（資料1）
前回の課題である「1時間前予約」の実態を詳細に検証した結果、運行件数の多い午前中には、ほとんど予約を入れる余地がなく、午後以降に予約がとれる確率が上昇している。利用時間を変更していただくことで、応援車にかかる経費を軽減していく必要がある。
- (2) 循環バス（福岡路線・豊成路線）の利用実績（H27年度第1・2四半期）について（資料2）
スクールバス等に一般利用者が利用できないか検討する。
- (3) 東金市議会視察報告（パークアンドライド）について（資料3）
通勤・通学に便利な路線を設けて、定住人口増加に繋げていく必要がある。
- (4) 東金市地域公共交通会議設置要綱の改正について（資料4）
承認
- (5) 平成27年度 東金市地域公共交通会議 収支補正予算（案）について（資料5）
承認
- (6) 「第2次東金市総合交通計画」の策定について（資料6）
承認

○ デマンド型乗合タクシーの利用実績（H27年度第1・2四半期）について【報告】 資料1
（事務局）

【資料1について説明】

前回の課題である「1時間前予約」の実態を詳細に検証した結果、運行件数の多い午前中には、ほとんど予約を入れる余地がなく、午後以降に予約がとれる確率が上昇している。利用時間を変更していただくことで、応援車にかかる経費を軽減していく必要がある。

○ 循環バス（福岡路線・豊成路線）の利用実績（H27年度第1・2四半期）について【報告】 資料2
（事務局）

【資料2について説明】

（委員）

例えば、スクールバス等に一般利用者が利用できるようにならないものか。

（事務局）

法令等を調べて検証する。

○ 東金市議会視察報告（パーク アンド ライド）について 資料 3

（事務局）

【資料 3 について説明】

（会長・議長）

およそ 100 年前の鉄道敷設の際、当初は本線を東金にする予定だったが住民の反対等により、現在に至っているようである。このことも教訓にしつつ、パーク アンド ライドについても検討をしていきたい。2060 年には東金市の人口が 3 万人台との予想が発表されている。財政的にも、東千葉メディカルセンターの運営もあり厳しい状況である。空港や宅配便等のハブ化が進むなか、路線バスにおいても同様のシステムを導入し、公共交通の利便性を向上させることで定住人口の増加に繋げていくことができればと思う。

外房地区の中心としても発展する可能性があり、バスターミナルに保育施設等を併設することにより、さらに便利になると考える。また、外出する機会を促進できるとともに環境保全にも貢献することができる。

（委員）

当社のみならず、九十九里鐵道さんにおいても都市間輸送のためのバスターミナルは重要な施策として位置付けられているものと思われる。インターチェンジに近い場所への設置は望ましいものと考えている。タクシー事業者にとってもバスターミナルまでの運行が増加すれば、メリットになるとと思われる。

（委員）

小野交差点や台方交差点の脇にバスターミナルがあれば、東金市の一層の発展が見込めるのではないか。

（委員）

東金商工会議所では既に運行されている深夜バスを検討していた 10 年前に、同じくしてバスターミナルについても検討していた経緯がある。東金市単独ではなく、周辺自治体とも協議をする必要があると考える。

○ 東金市地域公共交通会議設置要綱の改正について【審議】 資料 4

○ 「第 2 次東金市総合交通計画」の策定について【審議】 資料 6

（事務局）

【資料 4、資料 6 について説明】（関連する資料 6 を先に説明）

（会長・議長）

今後、東金市がどのような方向に進んでいくのか重要な部分を担っていくものである。委員の皆様からぜひご意見を伺いたいと思うが、その前に何か全体的な質問があればお願いしたい。

（林委員：丘山地区代表）

3 桁規模の駐車場を擁したバスターミナルが必要であると考えます。まずは、東千葉メディカルセンターの駐車場等を実証実験の場として活用できないものか。

(事務局)

バスターミナルを設置する場所等については具体的にお話する段階にはないが、東千葉メディカルセンターへの設置の可能性や実証実験等については検討させていただく。

(会長・議長)

第2次東金市総合交通計画を策定する際の「課題」、「制約条件」、「目的・目標」について、もう一度事務局から簡略化して説明をお願いしたい。

(事務局)

従来計画では交通網の整備が主な課題であったが、今回の計画ではまちづくりも含めた交通網の整備が課題となっている。

(会長・議長)

第2次東金市総合交通計画を策定するにあたり、課題に対する認識を共有する必要がある。委員の皆様のご意見を伺いたい。

(委員)

資料を見ればある程度の内容は理解できるものの漠然としているため、具体的なたたき台を提示されたほうが議論がしやすいと考える。

(会長・議長)

例えば、運行開始から3年経過するデマンド型乗合タクシーについて定量的な課題が提示されることにより、それに対する共通認識が可能となる。課題の共通認識が整理できた段階で、本会議を開催させていただき、それぞれの課題について第2次東金市総合交通計画にどのように盛り込んでいくのかを審議いただくことを提案させていただきたい。

(委員)

社会福祉協議会の立場から高齢者、障がい者などの交通弱者に配慮したものとしていただきたい。

(委員)

地区ごとの現状把握が必要である。およそ4,000人弱居住している日吉台地区においては、地区内を運行しているバスの利用者が少ない一方で、旧道沿いから利用する通勤者は多いようである。このことから用途がうまくいっていないことが分かるのではないかと。

(委員)

「東金市・東金市近郊公共交通網図」の半径1km以内にバス停が存在する区域を見ると、もはや東金市には交通空白地域がほとんどないように読み取れてしまうが、どう考えているのか。

(事務局)

こちらの資料は、1日当たりの運行本数や地形の高低差、道路状況に関係なく、東金市内にあるバス停から半径1km以内を示したひとつの指標である。こちらをもって交通空白地域がほとんどないという認識ではない。

(委員)

循環バス豊成路線においては、豊成地区を循環する時間が長く、目的地である市街地に到達する時間が遅くなっている。地区のアンケートでも時間短縮を求める意見が多く、循環バス推進委員会でも議題に上っているが、今のところは現状のままの運行で良いとの結論に達している(委員の多くは日常の利用者ではないという側面もあるため、今後の聞き取り調査等に期待している)。長期的な展望としてバスターミナルの計画も良いが、現状の課題についてもしっかりと議論していただいて、交通弱者の方々の支援をお願いしたい。

(委員)

八街市や山武市の病院に通院する方が多いため、デマンド型乗合タクシーにおいてもせめて病院にだけでも市外にまで行けるようにしていただけるとありがたい。また、土日の運行もお願いしたい。

(委員)

交通面では恩恵を受けている地区であり、大変ありがたいと思っている。しかしながら、路線バスに関しては、必ずしも利用者のニーズに沿って機能しているものとは言えない部分もあるので、改善を検討していただければありがたい。例えば、羽田空港行は東金駅にしか停車しないし、休日の千葉行フラワーライナー（東金道路経由）では乗車したくても満員で乗れないなどといった意見も伺っている。また、川嶋副会長の話にもあったように交通弱者の方々も不便なく利用できる路線バスを目指してほしい。

(委員)

資料6「第2次東金市総合交通計画」の策定についての2ページ中、「スクールバス（事業規模14,700千円）」となっているが、公平幼稚園のスクールバスの詳細な用途を把握したい。また、東千葉メディカルセンターまでデマンド型乗合タクシーを利用した場合に、診療や会計の時間が読めないために予約しにくい状況にあると思われる。

(委員)

東金市のデマンド型乗合タクシーは、「Door to Door」として運行がはじまった。しかし今後は、財政的な観点も踏まえつつ、市民の方々からのニーズへの対応も含めて、この方式が継続可能なものなのか検証していく必要がある。

(委員)

デマンド型乗合タクシーの利用者が少ないとのことだが、目標値が高く設定されてはいないのか。どのような設定となっているのか。地域の現状把握はもちろんのこと、目標値についても再度、検証すべきである。

(委員)

自動車の運転が難しくなるであろう高齢者の方が増えていく中で、社会の仕組みも大きく劇的に変化していくものと思われる。取り巻く環境もそれに呼応して変化が予想される現在においては、地方交通網の再構築は大変重要であると思われる。

(委員)

同時に策定が進んでいる東金市第3次総合計画とのすり合わせが必要である。齊藤会長にはそちらからの情報も、この会議において報告をお願いしたい。

(委員)

昨日（10.25）現在、県下での交通死亡事故は132名である。ワースト7位となっている。東金警察署管内においても6名の方が亡くなっている。

また、夏に九十九里有料道路等が無料開放されたことを受け、交通事故の発生を危惧していたが大きな問題はなかった。警察署の立場としていろいろと協力していきたい。

(委員)

国道・県道を管理する立場として、参画させていただいている。計画策定までのスケジュールがタイトであるがニーズ把握を十分に行い、まちづくりと一体となった交通網の再考に尽力していただきたい。必要に応じて、東金市とともに取り組んでいきたい。

(委員)

房総地区においてキャンペーンを実施する予定である。東金駅においても、駅からハイキングを11月7日に実施する予定であり、市外からの利用者も多くなることが予想される。人にやさしく、利用しやすい駅づくりを目指している。公共交通の相互連携、利便性の向上、駅施設の改善に努めていきたい。

(会長・議長)

JRの立場から東金市の取り組みについて何か助言はないか。

(委員)

観光客等呼び寄せの努力が必要と思われる。それに対応した駅設備の充実も必要である。東京オリンピックの開催が近づくとつれ、外国からのお客様も増えることが予想され、外国の方にも使いやすい施設整備が必要になってくるとと思われる。

(委員)

計画策定にあたっては現状把握を十分に行い、課題に対する解決策を盛り込んだものとしていただきたい。特に現状の循環バスとデマンド型乗合タクシーについては、それぞれの役割と利用者の利用目的を正しく把握し、再編や維持といった方針を決定していく必要があると思われる。

(委員)

資料6「第2次東金市総合交通計画」の策定についての3ページの策定スケジュール中、「地域の現状把握」から「公共交通の問題点・課題点の整理」については、今後依頼するコンサルタント会社の策定支援業務として情報がもたらされるのか。

(事務局)

そのとおりである。その部分を主たる内容として業務委託する予定である。

(委員)

これらの情報に関しては、早急に伝えていただいて、公共交通の利便性の向上と適切なコスト、そして交通弱者の方々にいかに利用していただくかを考えていく必要がある。

(委員)

バスターミナルについては、現在、東金駅から羽田空港には五井駅を経由して運行されている。市内にこういったものが完成して充実すれば、ダイレクトに目的地に向かうことができると思われる。

デマンド型乗合タクシーに関して、診療時間が読めないとお話があったが、「1時間前予約」をとりやすくできればと思う。

資料6「第2次東金市総合交通計画」の策定についての2ページ中、福祉タクシー（事業規模600千円）、ケアタクシー（事業規模11,500千円）となっているが、事業規模については、財政的な面から縮小傾向にある。介助者を必要としない方については、デマンド型乗合タクシーにより補完できるものと思われる。

(委員)

タクシー事業者であることにとらわれず、皆様とよりよい東金市をつくるために尽力していきたいと思う。

(委員)

ちばフラワーバスが発足して20年となる。10月16日にフラワーライナー、シーサイドライナーについて、田間地区内において一部路線変更をした。足掛け3年を擁したが、関係機関と田間地区の方々との協議を経ての変更であったが、実際に運行をしてみるとまだまだ利用者増には、繋がっていない。また、これまでの地区の方々との関わりについても十分な記録が残っていない。林委員のお話の中でも、実態の把握については大きな課題があるとのことだったが、全くそのとおりであり、利用者が見込めた上でバスの通れる道を運行するのが常である。

計画策定にあたり、地域の現状把握をされるとのことだが、これらの結果によっては会社の経営方針、運行形態をも変更せざるを得なくなることも考えられる。今後、忌憚のない意見をいただきながら、一方でそれに対する当社の実情、制約条件をお話ししながら対処方法を考えていくことになると思われるがよろしくお願ひしたい。

(委員)

東千葉メディカルセンターの要請により、受付開始時間に間に合うようダイヤを改正した。また、季美の森地区から東金市街へダイレクトに行くことができるバスがほしいとの要望があるとの要請を受け、既存バスを延伸したものの利用者増には繋がっていない。今後、東金市において、大規模開発や工業団地の誘致等の計画があれば情報提供をお願ひしたい。

(委員)

循環バス豊成路線を運行しているが、財政負担の合理性の確保の面から、今後、利用運賃が無料となっている手帳をお持ちの方にも負担をしていただく必要があると考える。

(委員)

国としても地方創生を目指して補助メニューを用意しているので、地方においても積極的に取り組んでいただきたい。県からも話があったが、各公共交通の役割を明確にして、利用者の利便性を高めると同時に持続可能な地域の公共交通計画が必要であると思われる。

(委員)

東金市第3次総合計画の下に各役割に相当する各種計画が策定されている。地方創生においては人口減少対策にいかに対応するかが課題であり、住みやすさ、暮らしやすさがキーとなり、様々な手法が考えられるが、それ以前にこの地域に居住されているの方々に対してどのようなサービスが提供できるのかを考えていければと思う。

(委員)

資料6「第2次東金市総合交通計画」の策定についての2ページ中、目指す交通計画についての主なものとしての2点目、福祉系の交通サービスとの連携について、計画に携わっていくことになる。介護が必要な方々の移動については、公共交通だけでは担えない部分の補完として、福祉有償サービス、福祉タクシー、ケアタクシーなどがあるが、重要な視点であると考えられるので、公共交通と連携をとりながら計画策定に携わっていきたい。

(委員)

東金アリーナ、東金文化会館等の施設利用者がどのような交通手段を利用しているのかについてもアンケート調査等で把握させていただけるとありがたい。

○ 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 収支補正予算（案）について 資料 5

（事務局）

【資料 5 について説明】

（会長・議長）

東金市として期待される効果とはどのようなものかをよく考えて、国庫補助金 850 万円をもって十分な経済的効果を生む企画・立案を望む。

資料 6「第 2 次東金市総合交通計画」の策定についての 2 ページ中、市内循環バスの事業規模が 1,280 万円で第 1・2 四半期の利用者数は約 9,500 人、デマンド型乗合タクシーの事業規模は 2,780 万円で第 1・2 四半期の利用者数は約 5,400 人となっている。単純に比較、評価はできないものの、どちらが効率のいい公共交通なのかという問題にもなる。これらの継続性も含めて、全体を評価して、これからの総合交通計画というものがどうあるべきかを示してもらい、それらについて審議をしていきたいと考えている。